

事務事業名		一般排水路整備事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり					担当組織	担当部	都市建設部	担当課	道路河川課
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり					担当係	河川係		担当課長名	青木 茂良
	施策	3 快適で質の高い住環境の整備					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 雨水排水路の整備					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	11269	一般	8	3	1	一般排水路整備事業					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
事業計画	単年度繰り返し		事業期間	年度～	年度	根拠法令等	左野市公共物管理条例		任意の事業・義務の事業		
								実施方法		一部委託	
								事業分類		施設維持管理事業(市主体)	
								リーディングプロジェクト		該当なし	
								市長マニフェスト		該当なし	

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
調整池の維持管理 一般排水路、一般下水排水路及び幹線排水路の維持管理を行う。			<ul style="list-style-type: none"> 調整池の維持管理 幹線排水路スクリーンの維持管理 一般排水路、一般下水排水路及び幹線排水路の維持管理 水路の工事、小破修繕、除草、浚渫、清掃等 (修繕料 5,699千円、委託料 17,988千円、工事請負費 8,770千円など)							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			調整池等清掃	箇所	12	14	14	14	14	14
			幹線排水路スクリーン清掃	箇所	12	11	11	11	11	11
			危険箇所の小破修繕	件	13	18	20	20	20	20
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
調整池 一般排水路、一般下水排水路 幹線排水路			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			調整池数	箇所	17	17	21	21	21	21
			排水路スクリーン設置箇所数	箇所	12	11	11	11	11	11
			排水路延長	Km	不明	不明	不明	不明	不明	不明
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
目的 ・排水路を適切に管理することにより排水を速やかに河川等に流下させる。 ・調整池を適切に管理することで、設置の目的どおりに放流先の河川への流入量を調整する。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			調整池等清掃実施の割合	%	70.6	82.4	66.7	66.7	66.7	66.7
			幹線排水路スクリーン清掃実施の割合	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
・住環境の安全性を高めるため、雨水排水路の整備を推進する。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			雨水幹線の整備延長	m	15,532	15,802	16,052	16,302	16,602	16,602

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
		千円							
投入量	国庫支出金	千円							
	県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	一般財源	千円	23,908	32,952	40,420	40,410	40,410		
	事業費計(A)	千円	23,908	32,952	40,420	40,410	40,410		
	事業費の内訳	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
		11.需用費	3,840	11.需用費	5,828	11.需用費	8,191	11.需用費	9,691
		12.役務費	64	12.役務費	64	12.役務費	69	12.役務費	69
		13.委託料	12,726	13.委託料	17,988	13.委託料	19,300	13.委託料	17,450
15.工事請負費		6,862	15.工事請負費	8,770	15.工事請負費	10,000	15.工事請負費	12,000	
16.原材料費		349	16.原材料費	302	16.原材料費	360	16.原材料費	400	
17.公有財産購入費		13	22補償、補填及び賠償金	0	22補償、補填及び賠償金	2,500	22補償、補填及び賠償金	800	
22補償、補填及び賠償金		54							
人件費	人	4	4	4	4	4			
のべ業務時間	時間	2,142	2,142	1,602	1,602	1,602			
人件費計(B)	千円	8,335	8,442	6,313	6,313	6,313			
トータルコスト(A)+(B)	千円	32,243	41,394	46,733	46,723	46,723			

事務事業名	一般排水路整備事業	担当部	都市建設部	担当課	道路河川課	担当係	河川係
-------	-----------	-----	-------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	開始時期は、不明。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	一般下水排水路について、建設年度・構造等の全容が把握できない中、施設の老朽化が著しい。社会情勢の変化に伴い、これまで地域で行われていた社会資本の管理を行政に依存する傾向が著しく強くなってきている。 土地区画整理事業、北関道建設等により管理する調整池が増えた。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	住民が設置した下水管(雑排水管)等の維持管理が出来なくなっており、市で管理してほしいとの要望が多い。 除草の要望が急増している。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	適正な維持管理により、快適で質の高い住環境を創出する。
	結びついている		
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	内水排除に係る排水路施設等の適正な維持管理は市の責務である。既に、市民に出来ることは市民に委ねている。(草刈り、土砂上げ等)
有効性 評価	市が行わなければならない		
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	雨水排水施設等を適切に維持管理する事業で、対象と意図は合っている。
	妥当である		
効果 率性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	必要最小限の管理で機能を保全している。
	成果向上余地がない		
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業名	
公平 性 評価	類似事務事業はない	理由・改善案	
	* 類似事務事業があれば、名称を記入		
	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	都市化が進み、住民の環境に対しての要求が高くなり、事務量も増加している中、必要最低限の対応しかとれず、これ以上の削減は不可能である。
総合 評価	削減の余地はない		
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	快適で質の高い住環境を市民に提供することは市の責務である。受益者は市民であり、特定の個人に受益者負担を求める必要はない。
	受益者負担を求める必要がない		
	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
	快適で質の高い住環境を維持するための事業であり、休止、廃止、終了となることはない。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持			×																					
	低下		×	×																					